

# Jubilo Club House ・ Athlete Center新築工事



 石川建設株式会社

## 1. 工事概要

工 事 名 Jubilo Club House・Athlete Center新築工事  
工 事 場 所 磐田市大久保891-106  
発 注 者 (株)ジビロ 代表取締役社長 木村 稔

工 期 平成29年3月1日～平成29年12月15日  
建 築 面 積 1,346.81㎡  
延 床 面 積 1,365.03㎡  
構 造 1階RC造、2階W造  
設 計 渡辺隆建築設計事務所  
工 事 監 理 渡辺隆建築設計事務所  
施 工 石川建設株式会社



## 2. 建設の背景と施設コンセプト

ジュビロ磐田のトップチームのメイン練習場があるヤマ八大久保グラウンド内に、ユース選手など育成世代の為に施設です。

寮やトレーニングルームや食堂やミーティングルームなどを内包するこの施設は、緩やかなカーブを描くトップチームの練習場を囲む既存法面に寄り添うようなカーブを描いて配置されています。またこの法面の残土処分量を極力少なくするため、2階が1階よりセットバックした法面に馴染む断面構成となっています。

土圧を受ける1階は開口部の少ない鉄筋コンクリート造とし、エンブレムが設置される打ち放し仕上げの曲面壁がサポーターや記者など練習場を訪れる人々を迎える顔となります。

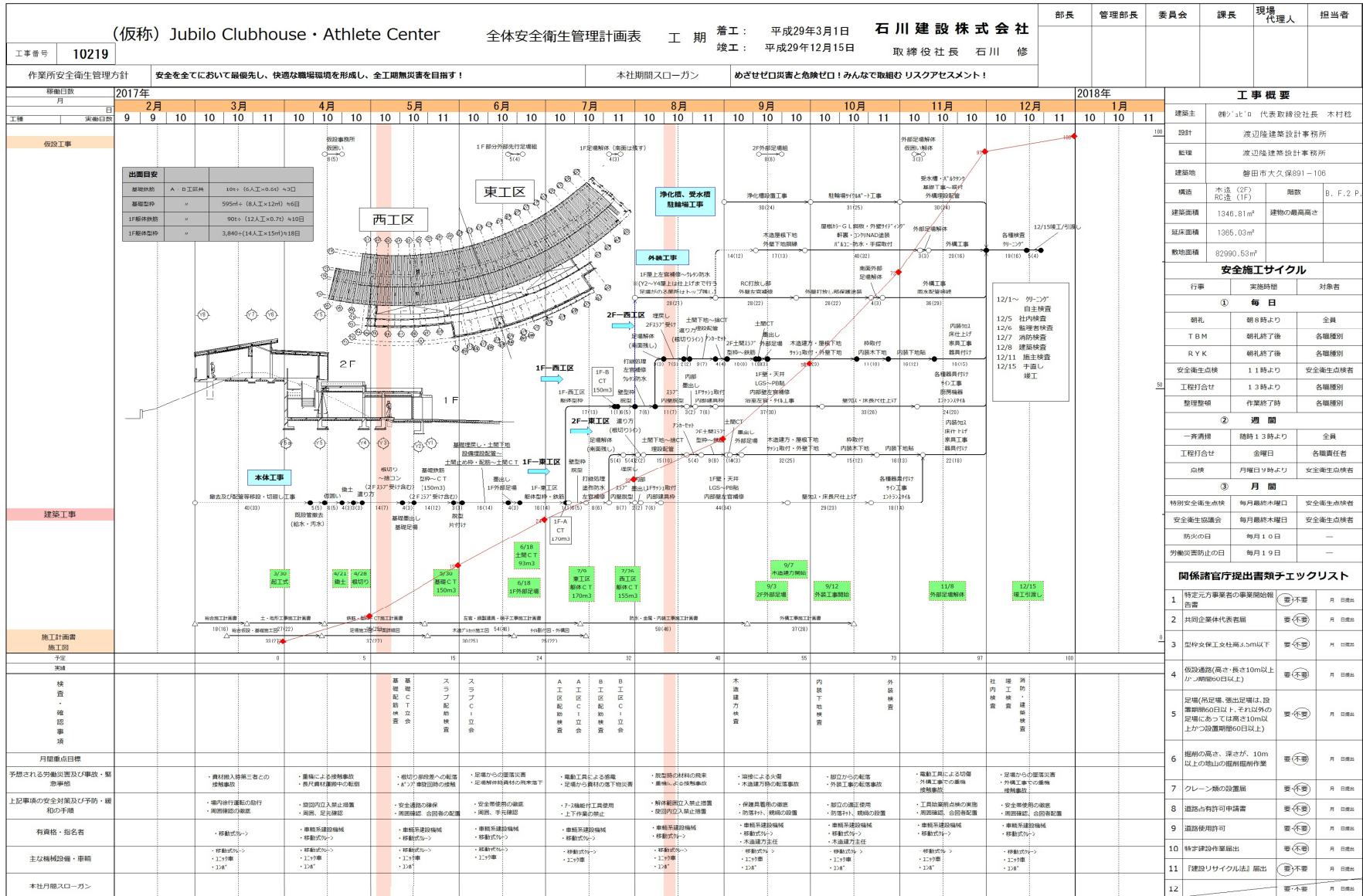
選手のための個室が配される2階は、壁の多い平面構成を生かした木造とし、柔らかな雰囲気的生活空間を提供しています。

選手の個室やトレーニングルームからはトップチームの練習を見ることができます。

また、同敷地内にはヤマハラグビーチームの練習場、隣地には「スポーツ交流の里・ゆめりあ」もあり、豊かな自然環境の中、トップチームから常に学び、他競技も身近に感じながら、サッカーに集中できる育成世代にとって最高の環境です。

### 3. 工程表


工程については、このマスター工程を作成し、月間工程、週間工程と詳細工程をたてて工事を進めました。契約内容で「JUBILO」及び「G」の練習試合等、主力練習日は工事を休止とすることとありましたが、実際には思った以上にその日数も多く、直前での予定変更なども多々あり、工程を管理していくうえで、苦慮することが多かったです。建物は2階建てになりますが、普通の上下階の建物とは異なり、斜面の上部が2階部分で斜面の下に1階部分と1階と2階がズレた配置となっています。そのため1階の躯体が完了後、そのまま2階の躯体工事とは出来ませんが、1階部分で削った斜面を埋めて戻して成形し、2階部分の基礎工事となります。1階と2階がつながる階段部分では、2階の屋根が掛かるまで空が見える状態で、雨水の進入があることにより2階部分の内装は足踏み状態の工程とするしかなく苦慮しました。



#### 4. 仮設計画

工事施工範囲の敷地北側にはジュビロ選手の練習グラウンドが有り、敷地に沿うように選手、他関係者の使用する通路となっており、工事仮囲い内の作業スペースだけでは、レッカー作業やコンクリート打設作業などの車輛パ-スが確保できないので、ある程度の期間、通路の一部を作業スペースとして利用させていただき、第三者の通行は迂回路を設置して、安全確保を第一優先に誘導員を2名配置し対応しました。とにかく材料パ-スが限られていたので、工程ごとに材料搬入と搬出を繰り返し、日々の細かな管理で小パ-スながら混雑した現場にならないで、整然と綺麗な現場を保ちながら工程を進めることが出来たと思います。ジュビロの練習見学には多数のファンが来場しますので、工事案内看板は完成パ-スを入れ見やすく分かり易く表示をして工夫し、安全対策としては、ジュビロ側の警備の方と常に連携をとり、工事の日程等を調整し第三者の安全確保に努めました。

(仮称) Jubilo Clubhouse・Athlete Center 設計: 渡辺隆建築設計事務所 施工: 石川建設株式会社



**現場案内図**

工事範囲

ジュビロ関係者第一駐車場  
※作業員の駐車厳禁!

石川建設  
現場事務所

ヤマハ発動機  
大久保グラウンド

建設建物

ジュビロ関係者  
作業スペース

ジュビロ見学者スペース  
工事関係者は駐車禁止

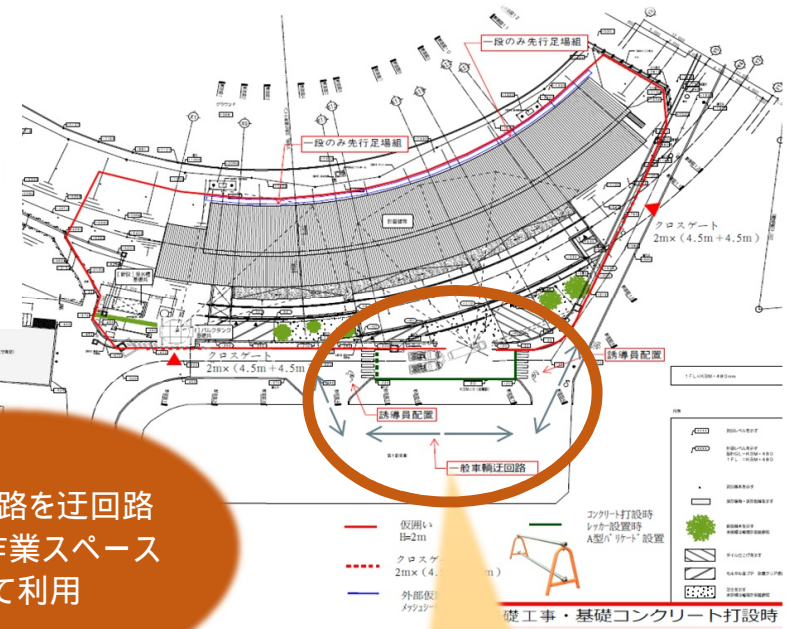
**建築基準法による確認済**

確認年月日番号	第H28確認建築静建住ま15011号
確認済証交付者	(一財)静岡県建築住宅まちづくりセンター 理事 長 貴山 巖
建築主又は 建築主氏名	株式会社 ジュビロ
設計者氏名	渡辺隆建築設計事務所
工事施工者氏名	石川建設 株式会社
工事現場管理者氏名	山田 日出光
建築確認に係る その他の事項	

**建設業の許可票**

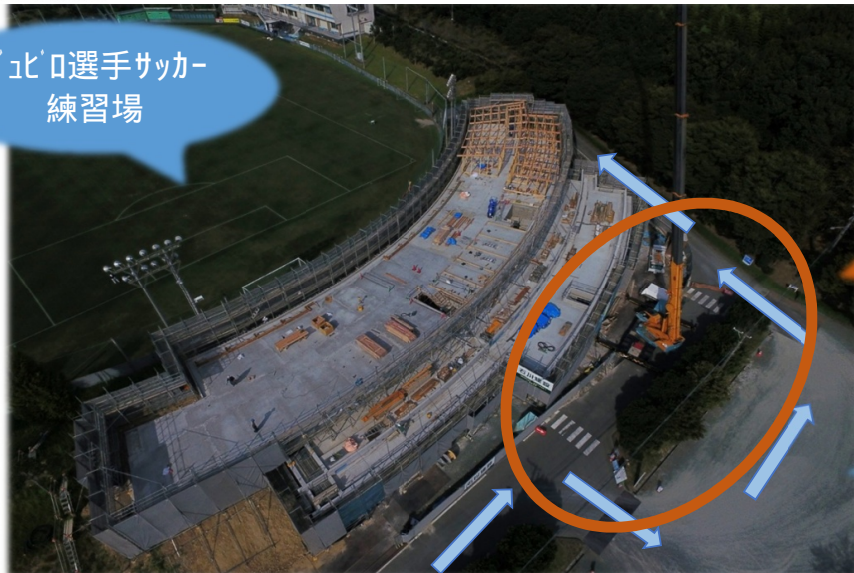
商号又は名称	石川建設 株式会社
代表者の氏名	代表取締役社長 石川 修
資格別 専任の有無	山田 日出光 専任
資格名 期間改定期	一般建築士 一般建築士
一般建設業又は 特定建設業の別	特定建設業
許可を受けた建設業	土木・建築・ほ装 工事業
許可番号	静岡県知事許可(特-26)第5300号
許可年月日	平成27年2月19日

工事案内看板



910×1850

ジュビロ選手サッカー  
練習場



車輛通行路を迂回路  
を設置し作業スペース  
として利用

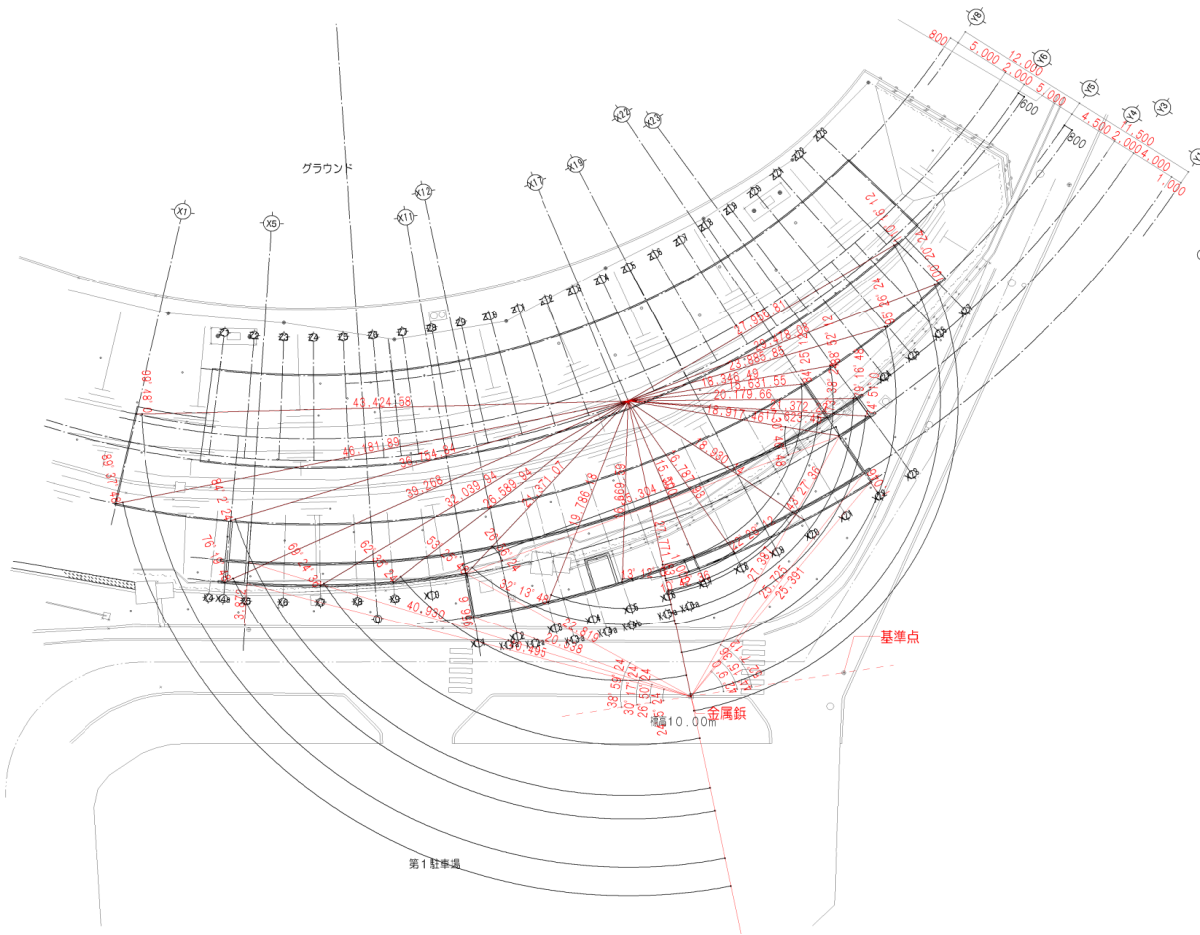
ジュビロ関係者  
迂回路

ジュビロ関係車両の迂回路  
を設置し通路一部を利用  
してのレッカー作業やコンク  
リ打設作業を行いました。

## 5. 施工管理留意事項

### a. 建物位置出し（墨出し）

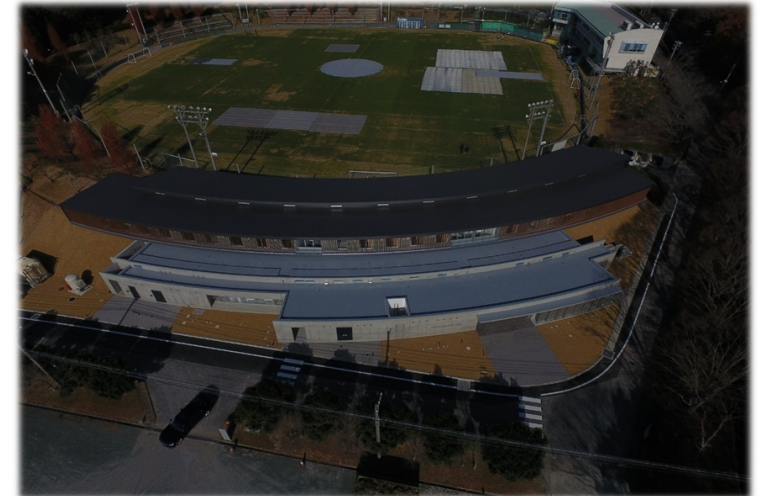
建物の位置出し（墨だし）について、放射状の建物の各基準通り芯が、1階の鉄筋コンクリート造部分と2階木造部分とで異なりその各基準線を出して躯体の墨出しも行わなければなりません。方法としては放射状の中心点に測量器をセットし各基準線の角度で出していけば出のですが、今回の中心点が「Z」選手の練習グラウンドの中にあります、当然「グラウンド」に立ち入っての測量は出来ませんということでしたので、限られたスペースの中で任意の測量点を決めてすべて座標点とした施工図を作成し、通り芯の点と点を結び、各通り芯を出していきました。敷地は斜面形状になっていて、そこへ建物の基準を出さなければならなかったため、かなりの労力と時間を費やしました。



通り芯座標図



着手前既存法面

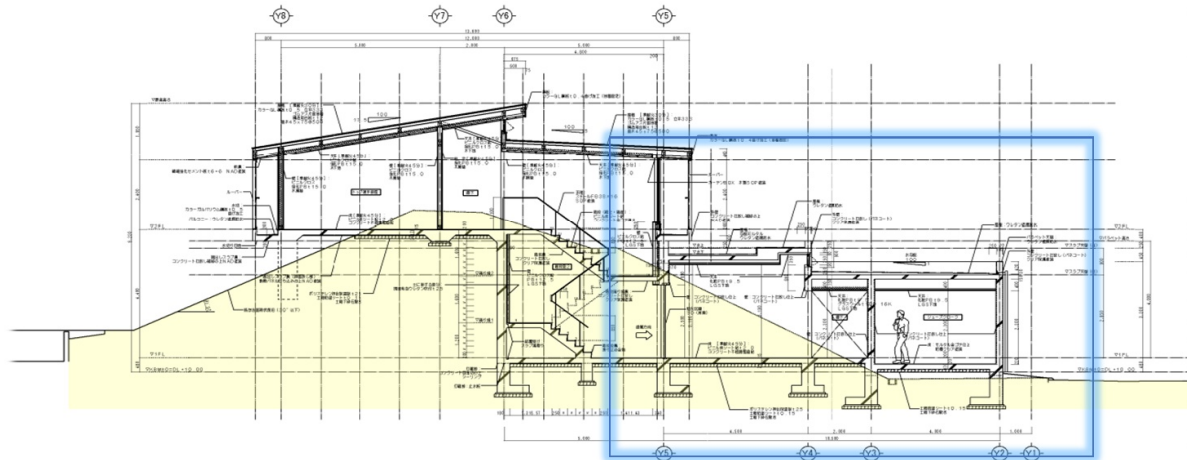


建設地 上空より

## b.土工事

土工事での1次掘削で1階の鉄筋コンクリート造の施工を行い躯体完了後、埋戻しをしてから2階部分の土間下地を施工可能となるので通常の上下階のようにある程度のラップ作業が出来ず、2階の木造部分の工程がかなり厳しく、大変でした。

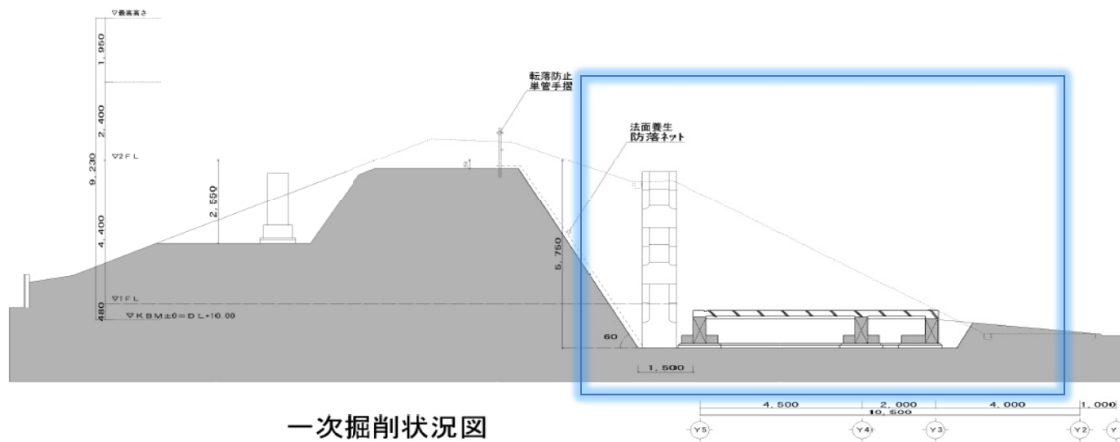
既存の斜面を出来る限り残すように、施工図を作成し業者との打ち合わせを重ね根切り面に関しても綺麗に且つ最小限で掘削作業をおこなえました。



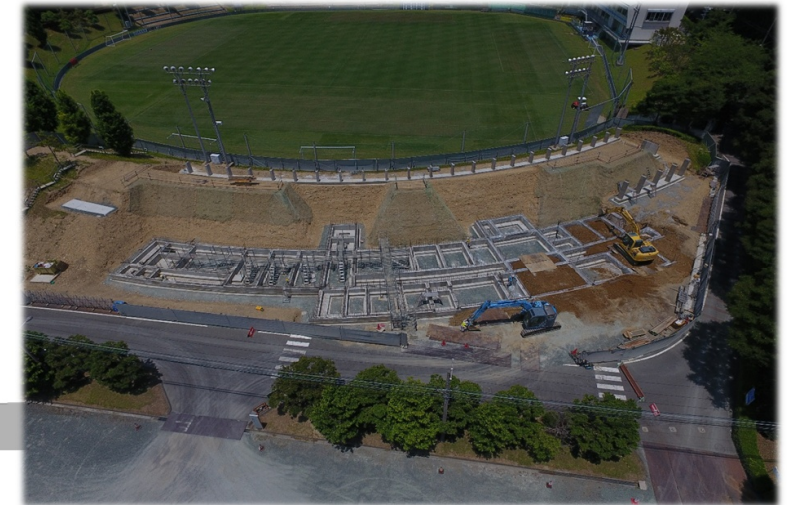
躯体断面図



法面、根切り基礎工事状況



一次掘削状況図



法面、根切り基礎工事状況

### c. 1F鉄筋コンクリート躯体工事（打ち放しコンクリート曲面壁）

1F鉄筋コンクリート造の躯体工事では、設計のコンセプトにあるように、打ち放し仕上げの曲面壁がサポーターや記者など練習場を訪れる人々を迎える顔となります。その為、曲面壁の型枠の精度やコンクリートの空隙やムラなどの無いように、綺麗なコンクリート壁となるような一発勝負の施工が要求されていました。

コンクリート打設当日は、設計事務所の意匠、構造担当者含め業者と朝礼を実施し、打設の細かな順番や打ち方、注意点等を全員一丸となって確認し、打設に挑みました。



1F躯体型枠状況



2F土間受け支柱型枠状況



1F躯体曲面型枠状況

Rに成形した  
鋼管を使用

2階  
スラブ



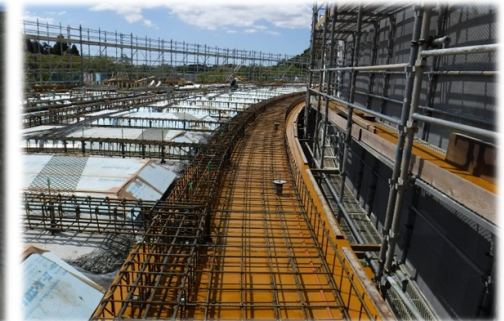
1F躯体コンクリート打設状況



1F打ち放しコンクリート締め状況



2土間下地施工状況



2土間基礎施工状況



1F打ち放しコンクリート打設当日の関係者打合せ朝礼



1F打ち放しコンクリート打設後型枠脱型状況



1F打ち放しコンクリート打設後型枠脱型状況(曲面壁)



1F打ち放しコンクリート曲面壁

## d.2F木造部分基礎工事

2階木造部分の基礎工事では、1階躯体部分の埋戻しをしながら斜面を形成し、2階部分の基礎工事を行いました。

2階部分には木造の土台を据える為のアンカーボルトを設置しなければならないのですが、これも各放射線状の通り芯に既定の位置、本数が必要となる為、位置の精度と既定の高さ（レベル）を確保しなければならず、アンカー1本毎、架台を設け測量した位置にカットしていきました。



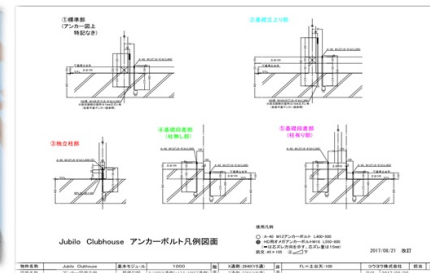
2F基礎部分法面埋戻し成形



2F基礎土間下地



木造土台アンカーセット



木造土台アンカー詳細図



2F基礎配筋、アンカーセット状況

## e.2F木工事

2階木造部分では、部材をまとめて置いておけるスペースが無いので、建方の順番に沿って細かく番付した部材により、片側から柱、梁、筋違、野縁と屋根の下地が施工でき、次工程に取り掛かれるよう工夫をした建方計画を立て、雨仕舞を優先するように施工を進めました。

プレカット図により細かなディテールを確認して、各納まりを検討しました。



2F木造建方状況(上空より)



2F木造建方状況(屋根面)

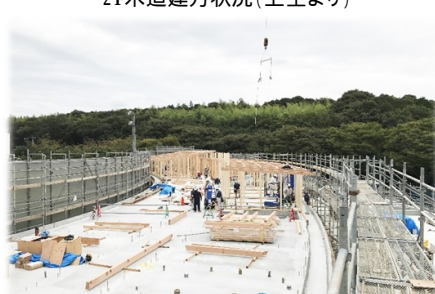


2F木造建方状況

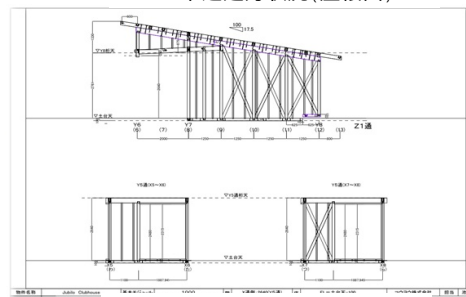


2F木造建方上様式

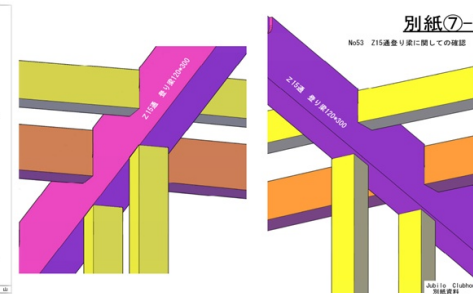
別紙⑥-4



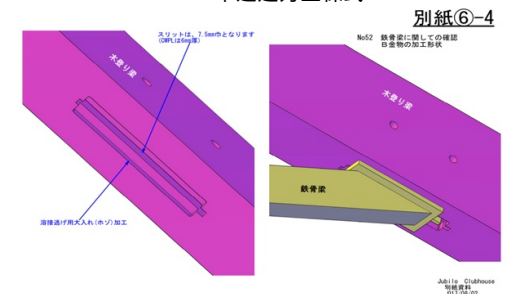
2F木造建方状況



木工事プレカット図



木工事プレカット図(ディテール詳細)



木工事プレカット図(ディテール詳細)





2階 平面図



ホール



スタッフルーム



階段室



1-入選手部屋



廊下

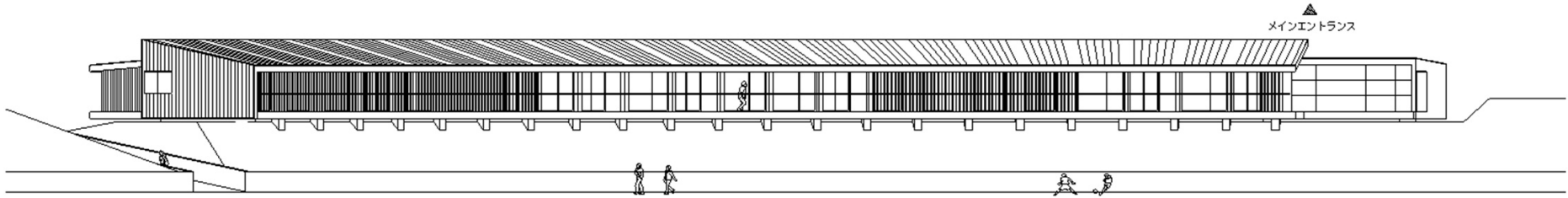
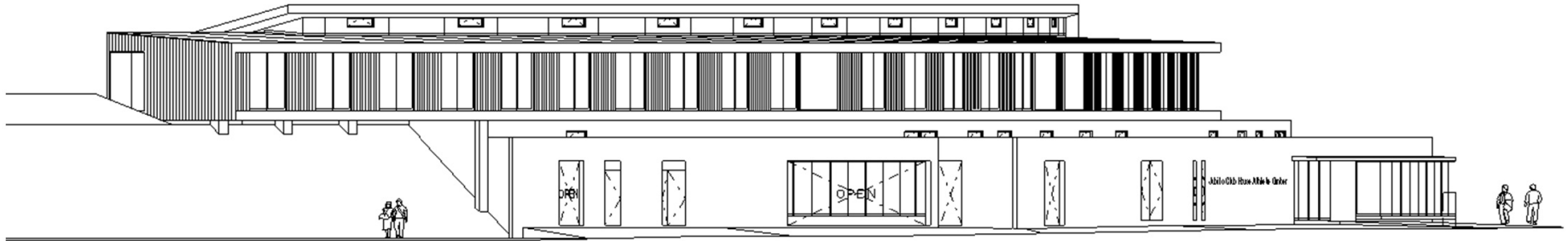


ラウンジ



トップ選手部屋

立面图



## 7. その他

完成後には沢山のメディアにとりあげられました。また、落成時の内覧会には、Júbiloの株主でもある、地元を代表する企業の代表の方々が多く訪問、見学されました。注目されていた建物の建設では工期・建設コストも非常に厳しい中、プレッシャーも多く大変でしたが、あらためてこの建設に携われて本当に良かったと感じました。



## 8. おわりに

地元のサッカーチームであるJúbilo磐田の施設であるクラブハウスの建設に携わられて、本当に光栄に思います。

沢山の関係者の協力を得て事故もなく無事に完成することが出来ました。

何よりJúbilo関係者の方には、大変喜んでいただき、ねぎらいの言葉を頂戴いたしました。本当にありがとうございます。

ここから世界で活躍する未来のスターが出ることを期待しないではられません。今後の活躍をご祈念申し上げます。

